

マーキング業界初の ショールームを開設

山田マシンツール



山田雅英社長

刻印機メーカーの山田マシンツールは、さいたま市のマーキングシステム事業部内に、マーキング業界では初となるショールームを開設した。公開に併せて、10月5日に、商社や関係者を集めショールームのオープンセミナー



を開催した。近年、安全性に絡んだ品質管理の観点から、各種部品製造現場では、トレーサビリティの重要性が高まり、「マーキング（刻印）」のニーズが高まっている。セミナー冒頭に挨拶に立った山田雅英社長は、ユーザースタッフに最適な

設備ニーズと、マーキング機器メーカーが提供するソリューションとの間にはギャップがある。今般開設のセミナーでは、自社製品にとらわれず、様々なニーズに即した設備を展示することで、ユーザースタッフに最適な

設備を提案できる場にしたい。また、ユーザースタッフをより深く捉える事で、自社のポテンシャルを一層発揮できるように努めているが、現状、「ユーザースタッフに育てる決意を話した。セミナーでは、同社がネットで公開しているマーキング・刻印機「ユーザの総合情報サイト」の「ユーザ H E マーキング」の説明が行われた他、ショールームの見学も共に行

この点に設備を提案できる場にしたい。また、ユーザースタッフをより深く捉える事で、自社のポテンシャルを一層発揮できるように努めているが、現状、「ユーザースタッフに育てる決意を話した。セミナーでは、同社がネットで公開しているマーキング・刻印機「ユーザの総合情報サイト」の「ユーザ H E マーキング」の説明が行われた他、ショールームの見学も共に行



旋盤加工時に、インプロセスでの刻印を可能にしたマーキングシステムの例。採用したユーザーでは社内の「設備改善賞」を受賞したという。